

て悪さ加減を把握していないからである。

9. 「解析」こそがQCストーリーの真髓！ 「解析」ぬきの「対策」をとるべからず！

QCストーリーでは一般に、

- ① テーマ
- ② とりあげた理由
- ③ 現状の把握
- ④ 解析（原因の追究）
- ⑤ 対策
- ⑥ 効果
- ⑦ 標準化（歯止め）
- ⑧ 残った問題点と今後の計画

} 特に大切なところ

というステップである。

某社のQCの指導をしていたとき、その社長がすばらしい実践力の持ち主で、「1を聞いて10

を行なう」方であり、アクションが抜群に速い方である。ところがアクションの速い方の欠点として、すぐ部下に「24時間以内に“対策”をもってきなさい」という命令がしばしば出るわけである。

そうなると部下のほうは、③現状の把握、④解析をスツとばして、⑤の「対策」のみを提出することになるのである。③と④とを省略した「対策」は憶測のイキを出ず、あまり効きめがないのである。慢性的問題とか重要問題では、いきなり「思いつきの対策」を出しても効きめは薄いのである。

そこで、QC的アプローチを理解された社長はさっそく、社内にポスターでQCストーリーのステップを貼りめぐらし、しかも、③現状の把握、④解析、については「特に大切なところ」と大書していただいたのである。

新フェローの紹介

フェロー会議より理事会へ新フェローとして千住鎮雄氏が推薦され、4月7日の理事会で承認されましたのでご紹介します。

千住鎮雄（せんじゅう しずお）氏

大正12年7月14日生

現住所 横浜市緑区桜台16-34

学歴 昭和21年9月 慶応義塾大学工学部機械工学科卒業

昭和35年3月 工学博士（慶応義塾大学）

職歴 昭和21年9月 橋田生産工業所入社

昭和22年9月 麻生産業株式会社入社

昭和26年5月 慶応義塾大学工学部（機械工学科）助手

昭和31年4月 同上 専任講師

昭和33年11月 同上 助教授

昭和34年4月 同上（機械工学科から管理工学科に移る）

昭和37年4月 同上 教授、現在に至る。

受賞 昭和32年11月 日本経済新聞品質管理文献賞

昭和44年10月 慶応義塾賞

昭和45年11月 石川賞

OR学会役員

副会長 昭和53・54年

理事 昭和37, 38, 46, 47年

評議員 昭和37~46, 49年より現在に至る。

